

第696回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 史跡鳥取城跡大手登城路復元整備事業 [鳥取市]

…………… 鳥取県鳥取市

- ・鳥取市の中心市街地に位置する鳥取城跡は、鳥取の歴史を伝える重要な史跡であり、市民の心の拠り所である。かねてより復元を求める声が多く、鳥取市は30年にわたり保存整備計画を立案した。
- ・その第一段階となる大手登城路復元整備が実施されており、大手橋であった擬宝珠橋と、大手門であった中ノ御門の表門が完成済みで、現在、中ノ御門渡櫓門を復元施工中である。
- ・擬宝珠橋は、現地の橋脚遺構保護を目的に既設コンクリート橋の基礎を活用し、ステンレス製の水中梁と木橋のハイブリッド構造で整備した。また、中ノ御門(大手門)は、近代以降に失われた排水路を再現したのち、三次元モデルを参考に古写真との照合により考察を深め整備した。



2 鳥取イノベーション実証フィールド整備工事 [鳥取県]

…………… 鳥取県鳥取市

- ・鳥取県では、ICT活用工事を推進するため、ICT建機を実際に操作しながら必要な技術を実践的に学べる新技術検証フィールドを鳥取大学乾燥地研究センター敷地内に整備した。
- ・本フィールドは、ICT活用工事の研修フィールドとして活用するほか、橋梁点検などのインフラ維持管理において活用可能な新技術の実証フィールドとしての活用も検討している。
- ・県の基幹産業である建設産業について、先進技術の導入による生産体制の革新とそれを担う人材育成及び生産性の向上を目指す企業支援を行う。



3 国道9号北条道路北条高架橋第3・第4PC上部工事 [中国地整] …………… 鳥取県東伯郡北栄町

- ・北条道路は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路。鳥取県内最後の山陰道整備区間として現在整備が進められている。
- ・本道路の整備によって、交通の適正な機能分担による安全性の向上、観光周遊ルート拡大による観光地の活性化や企業進出の促進が期待されている。
- ・i-Construction推進に向けて、現在工事が進んでいる北条高架橋上部工においても、隣接する2工事間でCIMの4Dモデルを統合し共有することにより、工事間調整に活用する試行を行うなど、様々な3次元データの活用に取り組んでいる。

